

# 地域で活躍している みなさんを紹介します

前回のシリーズ③ではまちのことをみんなで考える「まちトーク」についてお伝えしました。今回は鳥羽で活躍している団体についてお伝えします。

健康福祉課生活支援係 ☎ ②5 1181

鳥羽市内には、地域で活躍している団体がたくさんあります。

今回はその中でも、今浦朝市を開催している「麻生の浦会」、安楽島町でさまざまなイベントを開催している「ごーどい」、桃取町でお笑い劇場や地域食堂を開催している「桃の種」の3つの団体を紹介します。

3つの団体のみなさんは、始まりも仲間も取り組んでいる場所もそれぞれ異なります。しかし、それぞれの取り組みは自分自身や地域のためになっていきます。自分たちのしたいことが、巡りめぐって、地域のためになることがあります。

何かに取り組みたいと思っているかたはぜひ始めてみましょう。きっかけは何でもいいのです。たくさん楽しいことがあれば、地域は元気になります。一緒に地域を元気にしていきたいと思います。その取り組みこそが、地域共生の第一歩です。



麻生の浦会代表の  
小林一美さん

代表の小林一美さんにお話を伺いました。  
**団体ができたきっかけ**  
さっぱ漕ぎの大会がなくなつてから、子どもたちが何が残せるかを仲間と話し合いました。「朝市を始めてみようか」と地域を活性化させたい気持ちで立ち上げました。  
**団体のメンバーについて**  
地元の女性を中心に発起しました。また、さっぱ漕ぎのメンバーや改善グループに声をかけたらメンバー全員が参加してくれて、年齢層は20、80代と幅広くなりました。改善グループのお母さんたち



麻生の浦会

ちがいたからこそ麻生の浦会が結成できたと思います。  
**今、取り組んでいること**  
旧今浦保育所で毎月第1、第3日曜日に朝市を開催しています。地元のかたから観光客のかたまで多くのかたが買い物に来てくれます。  
ほかの朝市のかたにも売りに来てもらうなど、わたしたちだけではなく、いろんなかたに参加してもらっています。  
**取り組みから得られたこと**  
町内のおばあさんたちが朝市に来てくれて、若いかたと話せるのが楽しめと言われたことがすごくうれしかったです。やりたいことを実現できたことや、それを助けてくれる仲間がいることもうれしいです。  
**これからしていきたいこと**  
まだまだたくさんやりたいことがあります！  
これからは一人暮らしのかたも増えると思うので、そのようなかたにご飯を提供して助け合いができればと思っています。とにかく楽しいことがたくさんあります。いろいろな思いが出てきます。  
**地域での役割やできること**  
とにかく人が集まってくれば、防災にもつながるし、地域が元気になる。それが一



今浦朝市の様子

番です。  
みんなが朝市に行かないといけないと思って活動しているのか、参加しているかたは元気になっていいるかたは元気がわいたかたが受け継いでいくことが役割だと考えます。  
**市民のみなさんへメッセージ**  
思い立ったらやる！やりたければやったらいい！  
何かをやりたくて仮に途中でやめたとしても、何も失うことはない。失敗しても困ることって、実はないんです。そのためには、とにかくやってみたらいいと思います。やってみようという気持ちでずっと持ち続けるよりも、やってみようという気持ちで実現させたほうが楽しいし、気持ちいいですよ！



共同代表の小林拓樹さんにお話を伺いました。

**団体ができたきっかけ**

安楽島保育所跡を有効活用しようとワークショップを開いたことがきっかけです。「どーどい」とは、安楽島の方言で「どつや〜、大丈夫か〜」というあいさつがわりになる意味を持つ言葉です。

**団体メンバーについて**

40〜70代が中心です。安楽島を好きなたががが集まっています。学生さんや主婦など誰でも参加できます。気軽に顔を出してみてください！

**今、取り組んでいること**

「寄り合い」を続けることです。毎月15日午後7時〜9時まで安楽島公民館に集まり、現在・過去・未来の安楽島について話しています。

「○○でこんなことがあったー」「○○をしたいけれどどうしたら？」などゆる〜い感じで話をしています。

**取り組みをして得られたこと**

普段話をする機会がないかたがたと話ができます。話し合いの中から生まれた「納涼・流しそうめん大会」「昔・安楽島写真展」などは地域のみなさんに喜んでもらえました。

**これからしていきたいこと**

やりたいことばかりです。町民運動会、保育所跡地利用などたくさんあります。

12月15日(日)の午後3時ごろから安楽島保育所跡地で「たき火」をします。みんなでたき火を囲んでワイワイガヤガヤします。

**地域での役割やできること**

この団体の設立目的「地域にある団体を数珠のようにつなげていく」が役割だと思っています。

**市民のみなさんへメッセージ**

これから「どーどい」はいろいろな団体をつなげて楽しんでいきます。みなさんも一緒にいかがでしょうか！



納涼・流しそうめん大会の様子

**桃の種**



事務局長の下村悦生さんにお話を伺いました。

**団体ができたきっかけ**

平成8年、若者の減少で神祭の日(2月11日)に行われる青年団による「演芸会」が開催できなくなり、寂しくなった祭りを憂う声が多く聞かれました。その声を受けて、平成15年に演芸会復活を目指す有志が集まったのが始まりです。

**団体メンバーについて**

現在のメンバーは、20〜60代の男女29人です。職業は、漁師や主婦などさまざまです。老若男女が思ったことを遠慮なしに言い合える心の通った楽しい仲間です。

**今、取り組んでいること**

毎年2月11日に「桃の島お笑い劇場」の開催を通じて賑わいの創出に取り組んでいます。また、2か月に一度の地域食堂

「Kitchen momo」を開催して寄り合い拠点づくりを行っています。

**取り組みをして得られたこと**

とにかく、気心の知れた仲間が集まって楽しく話ができることが何よりです。そして、桃の島お笑い劇場を開催することで町のみなさんに楽しんでもらえること、Kitchen momoの参加者から感謝してもらえることも大きな喜びです。

**これからしていきたいこと**

誰もが気兼ねなく「助けてー」と声を上げられるようなまちづくりに関わりたいなと思います。そして、ほかの地域より高齢化も人口減少も進んでいるまちですが、「やっぱりこのまちに住み続けてよかった」とみんなが思えれば最高です。

今のところは、具体的に何も決まっていませんが、Kitchen momoの取り組みを継続させながら、今後の取り組みを考えていきます。それと、仲間と一緒に旅行がしたいとみんなが思っています。

**地域での役割やできること**

個人の力や少人数でできないことがたくさんあります。幸い、桃の種には、長い取り組みの中で培ってきた信頼できる多くの仲間がいます。町内会などの団体も町には必要ですが、このくらいの人数で取り組んだ方が取



地域食堂 Kitchen momo の様子



桃の島お笑い劇場の様子

り組みやすいこともあると思います。これまでの桃の島お笑い劇場やKitchen momoのようなレベルの取り組みで、一つでも多くの地域の課題解消につなげられるといいなと思います。

**市民のみなさんへメッセージ**

とにかく、嫌々やらずに、そして一部のかたの負担にならないように楽しんで長く続けていきましょー！そのうち、芽が出て、花を咲かせ、実をつけることでしょう。共に頑張りましょー！